

ふじ 議会だより

Fujikawaguchiko

かわづこ



Vol.82
2024.5

CONTENTS

- 今年の予算ピックアップ……2P
- 予算特別委員会 ……5P
- 議案賛否 ……13P
- 代表質問 ……14P
- 一般質問 ……18P
- 窓・議会見聞録・編集後記 ……22P



ようこそ新入生
～船津小学校～

した還元付与事業

令和6年度一般会計予算 139億8,500万円

(前年度比 4.9%増)

令和6年

第1回定例会

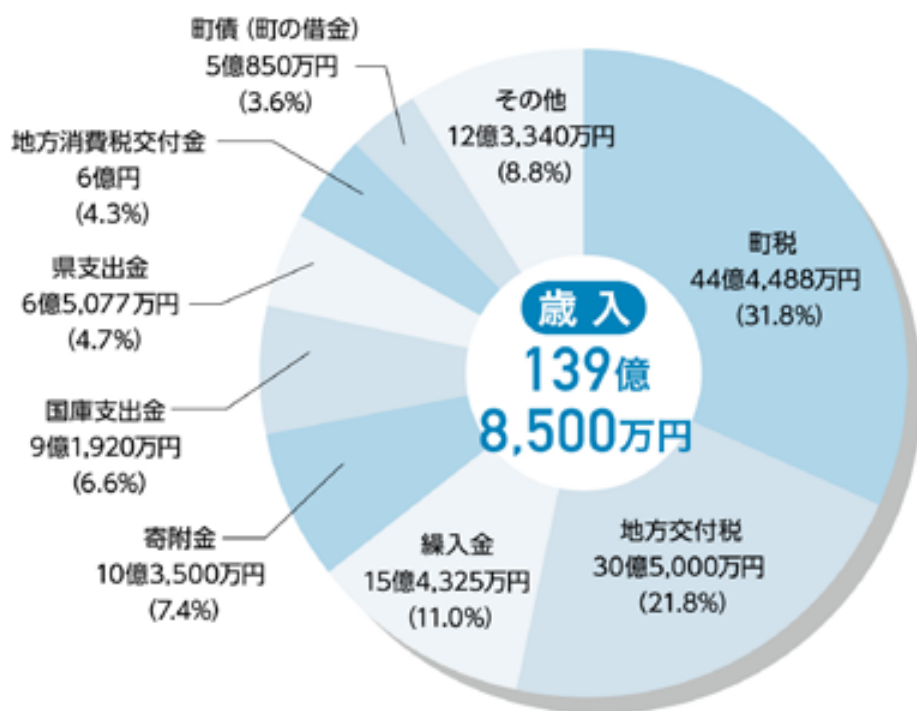
定例会の内容

令和6年第1回定例会は、3月5日に開会し、会期を18日までの14日間と決め令和6年度の予算等を審議しました。

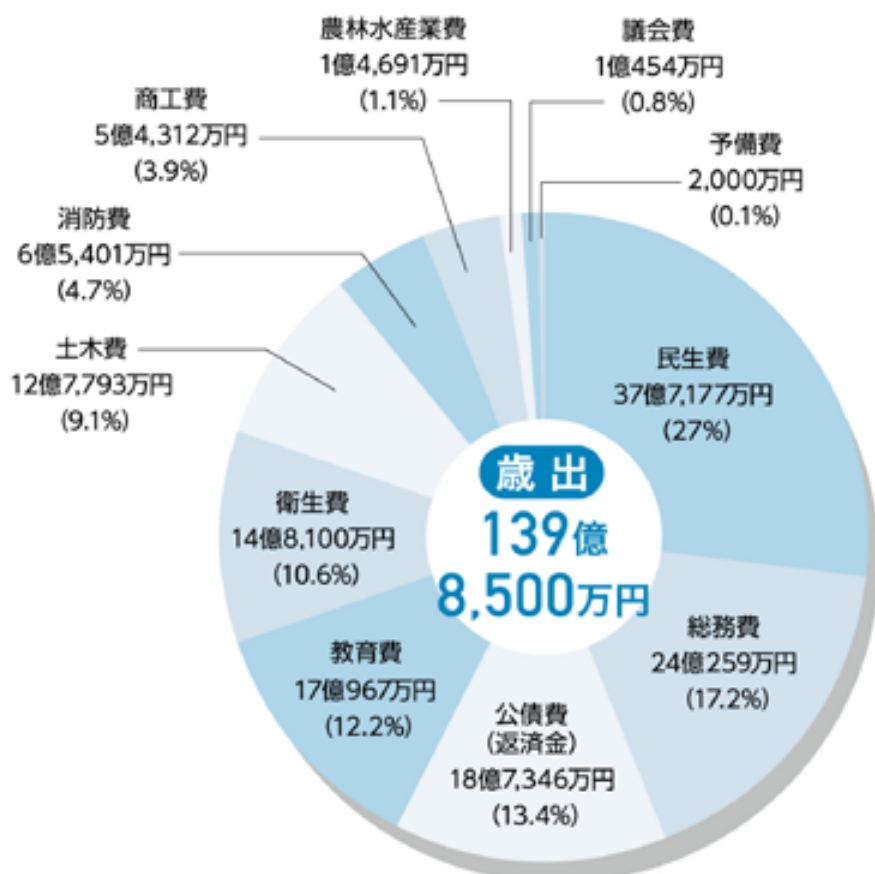
令和6年度の一般会計予算額は、前年度と比較して6億5,000万円の増額となり、歳入歳出それぞれ総額139億8,500万円となっています。

他に、代表質問(2会派)一般質問(4人)が行われ条例制定及び一部改正18件、同意案件3件、補正予算11件等を審議し、原案どおり可決しました。

また、令和6年度一般会計予算、特別会計予算、公営企業会計は、予算特別委員会を設置して集中審議を行い、すべての予算を原案どおり可決しました。



令和6年度一般会計予算の内訳 ()は構成比



自治体マイナポイント制度を活用

自治体マイナポイント制度を活用した還元付与事業



1億4,787万円

全町民を対象に、上限5,000ポイント分を還元するマイナポイント事業を行い、物価高騰により打撃を受けている住民生活を下支えするとともに、消費喚起を促す。



3月定例会では、予算特別委員会で予算案を審議し、可決しました。(P5～P12に関連記事)

その中で、議会が注目した事業を紹介します。1月臨時議会の目玉事業も掲載しています。

くぬぎ平スポーツ公園整備事業



3億3,640万円

運動場整備によりスポーツ振興と合宿などの宿泊の需要と観光の振興に繋がるものと期待される。

奨学金返還支援事業



1,000万円

町内での居住や就労を要件とし、奨学金返還を支援する。月額2万円、年間上限24万円。

令和6年 第1回臨時会

物価高騰対策商品券事業



8億2,756万円

諸物価の高騰から市民の生活を守る施策として市民1人当たり3万円(1,000円×30枚)の商品券を配布する。

上九一色分団詰所新築事業



2,850万円

上九一色分団富士ヶ嶺部の詰所老朽化に伴い、取り壊し、新築する。

その他の注目事業

●子ども医療費助成事業	1億394万円
●おうち子育て応援支援事業	6,000万円
●こども家庭センター事業	623万円
●高等学校学習用端末購入支援事業	600万円
●学習塾等受講料助成金事業	480万円
●高齢者外出支援事業	465万円

1月から3月までの議会の動き (一部掲載)

1月

- 5日 富士河口湖町安全祈願祭
- 7日 二十歳のつどい
- 10日 議長新年互礼会
- 12日 議会広報常任委員会(初校)
- 16日 富士北麓広域市町村圏議員研修会
- 17日 議会広報常任委員会(2校)
- 19日 議会広報常任委員会(最終校)
- 30日 議会全員協議会
議会運営委員会
議会臨時会

2月

- 1日 山梨県市町村自治講演会
- 8日 富士・東部広域環境事務組合議会

- 15日 山梨県市町村総合事務組合議会
- 20日 山梨県町村議会議長会議
- 20日~21日 富士五湖広域行政事務組合議会
- 22日 青木が原ごみ処理組合議会
青木ヶ原衛生センター組合議会
山梨県後期高齢者医療広域連合議会
- 27日 議会全員協議会
議会運営委員会

3月

- 5日~18日 議会定例会
- 22日 鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会
河口湖南中学校組合議会
- その他財産区管理会・各種委員会等20回の会議に出席

令和6年能登半島地震に伴う義援金 1月1日に発生した能登半島地震で被害に遭われた方々を支援するため、富士河口湖町議会では、義援金として10万円を日本赤十字社山梨県支部に届けてきました。



町の予算が有効に使われるか

委員会でチェック!



令和6年度 予算特別委員会

委員長 小佐野 快 副委員長 外川 満

特別会計

産前産後の国保税の減免制度の周知は

山下利夫委員

今年1月から始まっている、産前産後(4か月)の国保税(所得割と均等割)の減免制度の申請件数は、

住民課長

現在の申請数は3件である。

山下利夫委員

制度の周知はどのように行っているか。

住民課長

広報及びホームページの掲載とともに、子育て支援課の妊婦相談、母子健康手帳の交付のときに制度紹介を実施し、全妊婦に周知している。

高額療養費の対象は

三浦康夫委員

高額療養費は前年度とほぼ同じ金額だが、対象者は、入院の方が、もしくは入院外の方も含まれているか。

住民課長

入院・入院外は問わずに、合算でとなっている。

後期高齢者医療保険料の改定内容は

山下利夫委員

山梨県後期高齢者医療広域連合議会の議決で令和6年度の保険料が大幅引き上げられる。その改定内容は、

住民課長

令和6、7年度の1人あたりの医療給付費が増加の見込みで、出産育児支援金導入の影響もあり、現行と比べて、均等割額は9790円増の5万770円、所得割率は2・81%増の11・11%となった。

約95%の方が介護保険料の引き下げ

山下利夫委員

介護保険料の基準額(第5段階)が1420円(2・1%)の引き下げとなり、第1〜第9段階(所得が420万円未満)の方の保険

料が下がる。その人数は65歳以上の方の何%か。

健康増進課長

現時点で、第1〜第9段階の方が約7050人で、65歳以上の方の約95%となる。

山下利夫委員

ほとんどの方が引き下げとなることは良かった。中でも第1〜第3段階の方については、基準額に対する割合も下がる。現行と比べて、何%の引き下げとなるか。

健康増進課長

年額で、第1段階は3740円(10・89%)引き下げ、第2段階は5440円(10・56%)引き下げ、第3段階は5110円(9・92%)引き下げとなる。

上下道の管路更新の予定は

山下利夫委員

管路の更新について、新年度に実施する工事は、

水道課長

今年で3年目になる、勝山中央通り線の送配水管の布設替工事のほかに、未



勝山中央通り線

整備路線への整備、配水ポンプや計装盤の更新などを予定。

配水施設の耐震化を

山下利夫委員

富士河口湖町の重要管路の耐震化率が38・8%で、全国平均40%を下回っているとのこと。重要道路の耐震化の推進を。

水道課長

導水管、緊急時拠点病院、介護施設、避難所への接続管路などを重要管路として位置づけ重要管路の延長36kmのうち、耐震化済み管路延長は約14kmであり、耐震化率は約38・8%となる。限られた予算の中であるが、順次耐震化工事を行っていく。

山下利夫委員

上水道の配水施設の耐震化の状況は。

水道課長

平成25年度に実施した調査結果によると、上水道エリア内の配水施設20か所のうち、耐震化を有しているものが4か所、補修が必要な施設は2か所、支持力不足の施設は1か所、不明な施設は13か所となる。

山下利夫委員

20施設のうち少なくとも16施設について対応が必要ということだが、今後どのように進めていく計画か。

水道課長

配水施設20か所のうち、先述の調査以降に築造された施設2か所は、耐震性を有している。他の18施設は、まずは耐震診断を行う必要がある。

一般会計

新たに支給される
会計年度任用
職員の勤勉手当は

山下利夫委員

総額と一人当たりの平均額は。

総務課長

支給総額は、約9200万円を見込み、平均額は一人3万5000円程。

山下利夫委員

国の財政措置はあるのか。

総務課長

交付税の基準財政需要額への算入であり、約4分の1の2200万円程。

移住・定住促進事業

渡辺美雄委員

移住セミナー事業の予算内訳は。

政策企画課長

移住コーディネートナー人件費、中京・関西方面等各種移住セミナー・移住相談会の経費。また奨学金1000万円を計上。

渡辺美雄委員

関西方面からの問合せがあつての計画なのか。

政策企画課長

県大阪事務所主催の移住セミナー・移住相談会にオンラインで参加し、手応えがあつたので計画。

渡辺美雄委員

移住コーディネーターは専門職を配置するのか。

政策企画課長

専門職ではない。町内で募集をかけ、移住経験のある方の採用を考えている。

奨学金返還支援事業

佐藤安子委員

展開と周知方法は。

政策企画課長

広報・ホームページ等。支援金は年度末一括支給。

佐藤安子委員

地元高校生へのPRは。

政策企画課長

高校入学時のパソコン・タブレット購入の補助説明の際に併せて説明。

ツエルマツト

姉妹都市交流

佐藤安子委員

中学生に3分の2を補助するが、町民の交流は。

政策企画課長

一般町民への補助の考えはないが、一般参加の募集をしていく。

山下利夫委員

事業展開は。

政策企画課長

町内在住の中学生を中心とした訪問団を構成し、6泊8日程度の訪問団の派遣。交流事業や学生との懇親、歴史ある産業の探訪やホームステイ先での交流など。

山下利夫委員

参加者数・募集方法は。

政策企画課長

中学生15名・引率者4名程度。募集は、5月頃から広報・ホームページ等によって広く周知。



ツエルマツトでの姉妹都市交流

婚活事業

山下利夫委員

目的と事業展開は。

政策企画課長

相談・出合いの場を提供。

山下利夫委員

男女共同参画費の事業であることが重要である。ジェンダー平等についての理解を広げるための啓発は。

政策企画課長

婚活については生涯のパートナーとの出合いをという機会、婚活イベントとジェンダー平等の理解促進については別のものだと考えている。

山下利夫委員

少子化解決のために結婚を迫るようなメッセージになつてはならないが。

政策企画課長

少子化や結婚を強要するイベントではない。

山下利夫委員

日本語教室事業

山下利夫委員

開始時期と頻度は。

政策企画課長

10月初旬から15回程度、月2回程度の開催。

新・上九一色分団 詰所と車輛

外川満委員

上九一色分団詰所新築の詳細は。

地域防災課長

富士ヶ嶺部の詰所の建て替えて、築40年を超え老朽化しており雨漏りもひどい。

外川満委員

消防車両購入については。

地域防災課長

整備後30年を経過した精進部の消防自動車であり、老朽化が著しい。機動力のある軽ワンボックススタイルの車両に更新する。

青パトの更新

渡辺英雄委員

現在の車両の航続距離と下取り価格は。

地域防災課長

走行距離36万キロを超え、下取り価格は未調査。

防災士の育成

佐藤安子委員

「甲斐の国・防災リーダー」と「防災士資格取得」の2種類の金額は。

地域防災課長

甲斐の国・防災リーダー養成講習会(県で実施)は、

一人8100円で5名分。

防災士講習会(国・研修センターで実施)は1人分6万円を計上。

佐藤安子委員

防災士への願いは。

地域防災課長

有事の際に避難所運営に携わっていただきたい。

佐藤安子委員

防災士へのフォローアップ、訓練は。

地域防災課長

研修やスキルアップできる体制・整備に取り組む。

佐藤安子委員

避難所案内看板はあるか。

地域防災課長

学校等指定避難施設の場合指定の看板はあるが、誘導看板は、要所に数か所。

公式LINE

佐藤安子委員

使い勝手はよくなるのか。

地域防災課長

プッシュ配信で欲しい情報がわかる仕組みを構築。

拡充される紙おむつ 給付助成事業

山下利夫委員

対象拡充は何人位か。

福祉推進課長

要介護1まで拡充し、昨年度より2割増しである。

保育環境・体制整備

渡辺英雄委員

小立保育所整備基本計画の内容と検討構成メンバーは。

子育て支援課長

隣地駐車場用地の測量及び事業計画。

基本計画は、行政関係者とコンサルタントで行い、下半期には、地元関係者や有識者等も含めて検討していく。

山下利夫委員

保育士の賃金上げが国の財政措置で実施される。町はどの位引き上げるか。

子育て支援課長

公立保育所においては、会計年度任用職員の勤勉手当等も含め人件費が約6400万円、認定こども園、

地域型保育施設への増額見込みが約5800万円。

山下利夫委員

富士ヶ嶺保育所での1歳児、2歳児の受入れ再開は。

子育て支援課長

来年度以降、利用する必要性を個別に判断し、調整。

子育て支援事業

佐藤安子委員

つごいの広場事業内容は。

子育て支援課長

現在の月・水・金曜日の開催に、火・木曜日を試行的に増やし行う予定。

子育て支援課長

子供を守る地域ネットワーク強化事業内容は。

子育て支援課長

要保護児童・要支援児童の家庭の相談内容を登録するデータベース化、子ども家庭センターの事業としてサポートプランをつくる機能を付け加える。

子育て支援課長

要保護児童・要支援児童の家庭の相談内容を登録するデータベース化、子ども家庭センターの事業としてサポートプランをつくる機能を付け加える。

子育て支援課長

要保護児童・要支援児童の家庭の相談内容を登録するデータベース化、子ども家庭センターの事業としてサポートプランをつくる機能を付け加える。

子育て支援課長

要保護児童・要支援児童の家庭の相談内容を登録するデータベース化、子ども家庭センターの事業としてサポートプランをつくる機能を付け加える。

子育て支援課長

要保護児童・要支援児童の家庭の相談内容を登録するデータベース化、子ども家庭センターの事業としてサポートプランをつくる機能を付け加える。

子育て支援課長

要保護児童・要支援児童の家庭の相談内容を登録するデータベース化、子ども家庭センターの事業としてサポートプランをつくる機能を付け加える。

子育て支援課長

要保護児童・要支援児童の家庭の相談内容を登録するデータベース化、子ども家庭センターの事業としてサポートプランをつくる機能を付け加える。

子育て支援課長

要保護児童・要支援児童の家庭の相談内容を登録するデータベース化、子ども家庭センターの事業としてサポートプランをつくる機能を付け加える。

子育て支援課長

要保護児童・要支援児童の家庭の相談内容を登録するデータベース化、子ども家庭センターの事業としてサポートプランをつくる機能を付け加える。

子育て支援課長

要保護児童・要支援児童の家庭の相談内容を登録するデータベース化、子ども家庭センターの事業としてサポートプランをつくる機能を付け加える。

拡充される 児童手当支援事業

山下利夫委員

国は今年10月から児童手当等の対象を拡充し、高校生まで、所得制限も撤廃、第3子以降は月額3万円に引き上げられる、町の予算措置は。

子育て支援課長

国の改正を受け、当初予算の中に見込んでいる。

新ゴミ処理場の 進捗状況

山下利夫委員

令和6年度の新ゴミ処理場建設の事業内容は。

環境課長

委託事業として今年度、施設整備関連の基本計画が完了。その後、環境アセスメントの環境影響評価業務を行う。

蓄電池の補助

三浦康夫委員

令和5年度の蓄電池補助は20台分だったが、令和6年度は、粟井環境財団より補助があり、8万から20万

円に増額されているが。

環境課長

令和6年度は、太陽光発電と蓄電池を併用して環境保全につなげるため補助40台分を予定している。

三浦康夫委員

今後40台分以上の増設があった場合の対応は。

環境課長

補正予算で対応する。

三浦康夫委員

今回、町の補助金と他の補助金が併用されるのか。

環境課長

蓄電池については県から20万円の補助、町と合わせて40万円になる。

猫の不妊去勢手術

三浦康夫委員

猫の不妊・去勢手術は県の100%補助事業で推進されているが進捗状況は。

環境課長

年間、130件程度の申請がある。

三浦康夫委員

対象は飼い猫・野良猫も対象になるのか。

環境課長

飼い猫・野良猫も対象に

なる。野良猫は保護団体等が手術した場合、多少の増額がある。

富士五湖聖苑

三浦康夫委員

コロナ禍で3年前は火葬場、斎場の運営も厳しさがあつたが、最近亡くなった遺族の話では2週間位斎場が利用で出来ないことがあつたとのことである。町の対応は。

環境課長

管轄が町ではないが、状況は次の通りである。

富士五湖聖苑火葬状況

	全体	町内
令和4年度	1244	275
令和5年度	1168	279

ナラ枯れ

三浦康夫委員

今回の予算に152万円が計上してある。松くい虫の被害以上にナラ枯れの被害が急増している。今回の予算で何本位対応できるか。

農林課長補佐

150本を予定している。一本1万円位。

三浦康夫委員

山全体に被害が広がっているが、森林組合に作業を依頼する基準は。

農林課振興係長

町の事業は、民有林を対象としているが、山の高い場所は、県有林が多く、結果として山の低い範囲を森林組合に委託している。

地籍調査の進捗状況

三浦康夫委員

合併して20年の節目を迎える。昨年度より予算の減額が計上されているがその要因は。

農林課地籍調査係長

合併後、各地区の地籍調査事業も進み、その後、法務局の地籍認証作業が完了しないエリアも残っている。なので新規エリアの調査事業よりも認証作業の終わっていないエリアを重点的に行う為に減額した。

富士ヶ嶺地区は

三浦康夫委員

平成15年に合併し、重点的に富士ヶ嶺地区の地籍調査事業を行ったが進捗状況は。

農林課地籍調査係長

富士ヶ嶺地区は、広範囲のエリアであり、また地権者が県外に多く住んでいるため、確認・同意が進んでいない。具体的に富士ヶ嶺地区の全体の進捗状況は調査中である。

三浦康夫委員

昨今、県外から河口湖周辺に数多くの事業計画が持ち込まれている。北岸地区の大石・河口地区の地籍調査事業を行ったが、進捗状況は。

農林課地籍調査係長

大石地区は地籍調査事業も終了し、法務局への認証作業も完了している。河口地区も地籍調査事業が終了している。その後、法務局への認証作業が進行中で認証はまだ完了していない。

地域おこし協力隊

佐藤安子委員

地域おこし協力隊事業では令和4年度から就業している事業者が来年度で最終年度になる。その後の状況は。

農林課振興係長

町の方針では、令和7年度より町に住み独立して就農する計画になっている。佐藤安子委員

7年度の地域おこし協力隊の募集が予算計上されている。引き続き農業、就農関係の予算は。

農林課振興係長

募集内容は引き続き7年度も新規就農で農業をする方を予定している。

佐藤安子委員

国の新規就農者への補助金450万円を3年間で対応するが、今回の150万円の状況は。

農林課振興係長

新規就農者の年額150万円の補助は年2回上半期・下半期に分け各75万円を補助する。

観光イベント

中村拓郎委員

今年度、新しいイベントの内容・ハーブフェスティバルの日程・規模は。

観光課長

蔵出しワインバーの日程は、6月21日～23日の3日間、正午～午後9時まで。県内のワイナリーが20～30軒出店、町内から10～15軒が出店し期間中1万人の来場者の予定。

いやしの里修繕

三浦康夫委員

平成18年からいやしの里の整備をした。すでに17年経過し計画的に修理の必要がある。町の方針は。

観光課長

町の施設も20年が経過すると機械等も徐々に破損をする。優先順位をつけて進めたい。

三浦康夫委員

古民家施設に対する国・県の補助金等の対応、さらに修繕事業の一環として、古民家を守る意味での補助制度はどうか。

観光課長

補助金の有無については、アンテナを高くして探していく。

三浦康夫委員

いやしの里、施設内の電話修繕の予算を3年間で計画されているが。

観光課長

いやしの里に敷設してある業務連絡等に使う機械類の修繕を3年間で言い事務所と出店者の連絡用にする。

マイナポイント事業

三浦康夫委員

マイナポイント事業の推進で、すでに78%の町民の方がマイナンバーカードを取得しているとの説明である。残り20%を達成すれば、マイナポイント還元付与事業はいつ頃から始めるのか。

観光課長

4月から配布が始まる3万円の物価高騰対策商品券を町民の方々が使い切る頃を見越し、秋口以降に行う。

三浦康夫委員

残り何%の取得状況で始めるのか。

副町長

昨年5000人のマイナンバーカードの取得があり、令和6年度は前半で5000人を目標にする。

三浦康夫委員

国が推進するマイナンバーカード取得には情報流出等諸問題が山積し、さらに対象者が施設にいる場合、子供さん、75歳以上の高齢者等の対応はどうか。

副町長

親が施設にいる方は法定相続人の親族によって手続を進めていく。

冬花火のイベント 事業費の増額は

令和5年度、世界遺産10周年・町政20周年の行事であり1320万円を計上した。今年は300万円増額されているが、物価高騰の影響であるか。

観光課長

昨今の諸物価高騰により花火の費用が2割～3割位値上がりしている。

山下利夫委員

同じ花火の費用でも湖上祭の予算は増額されていないがその理由は。

観光課長

湖上祭等の花火大会は町の一般会計だけでなく各種観光協会の協賛金もお願いしている。



河口湖冬花火

くぬぎ平 サッカー場の工事

古原実委員

くぬぎ平サッカー場2期工事について小立住民は寝耳に水であり、サッカー場の下には公園墓地があり、水はけが悪くその対策が未だ解決されていない。すでに建設の予算が計上されているが詳細の内容は。

町長

2期工事について財産区に人工芝化の説明をしたと思う。公園墓地の排水溝の整備について財産区に迷惑をかけるような対処する。

渡辺美雄委員

くぬぎ平サッカー場の人工芝1期工事を行った際、排水工事で雪解沢に流し入れたが、さらに2期工事も同様に雪解沢に計画されている。沢の状況が極めて危険状態であるがどうか。

都市整備課長

大雨が降った際、状況を確認して改修等の計画をする。

渡辺美雄委員

サッカー場の工事の際、公園墓地・リゾートマンション・体育館等の間を雪解沢が流れているので、その近くの護岸工事をしたが、その水の流れの影響があると思うが。

都市整備課長

水の流れは、雪解沢とグラウンドの系統とは違う。今回グラウンドの水路はマリア国際幼稚園の系統である。今回改修したのは富士桜カントリークラブの方から流れている水である。

渡辺美雄委員

サブサッカー場の排水の雨水を吸収できなく、人工芝の下を通過しているため公園墓地等への影響があるので十分に考慮を求める。

渡辺美雄委員

SDGsの観点から、マイクロチップ等も混入して流れてくるのでその対策は。

都市整備課長

耐久性の高いものでちぎれにくい製品を採用し、グラウンドの外縁部にバリアゾーンを設ける充填剤を

用いない人工芝を使う。排水施設に芝の破片を回収するフィルターを設置をする。

渡辺美雄委員

今回人工芝購入の資金計画が1億730万円で計算されているが、この設備は回年後に取り換える予定であるか。

都市整備課長

メーカーより十数年後に改修工事が必要であると聞いている。

渡辺美雄委員

今回の工事は十数年後に最低1億円以上の改修費が必要であり、さらに年間の維持費も追加されるが、現状で使用している天然芝ではどうか。

都市整備課長

管理は生涯学習課である。話では4分の1は良い状態。半分以上はかなり厳しい状態である。

山下利夫委員

くぬぎ平サッカー場の2期工事の財源構成について工事費3億3000万円の内訳は。

都市整備課長

スポーツ振興の助成金3000万円、公園事業債2億5140万円。残り4860万円は一般財源の予定。



くぬぎ平スポーツ公園

耐震化工事補助

三浦康夫委員

数年前から大型地震が頻発している。国、県は特に木造住宅の耐震化に力を入れているが、当町の耐震化の現状は。

都市整備課長

耐震診断は令和元年より5年まで12件。

三浦康夫委員

耐震診断の次は耐震改修工事と進むが実績は。

都市整備課長

令和元年より5年までに2件の実績である。

三浦康夫委員

耐震改修工事が多く、町民は躊躇している。町の対応は。

都市整備課長

耐震改修工事には多額の費用がかかり、実績が少ない状況である。

三浦康夫委員

住宅リフォーム補助金20万円と耐震改修工事を同時に行った場合は、補助合計145万円が対象になるか。

都市整備課長

住宅リフォームと耐震改修工事を同時に行った場合は145万円の対象になる。

三浦康夫委員

耐震診断結果の報告を踏まえて耐震改修工事の諸費用等の相談をするために講習会が必要と思うが。

都市整備課長

耐震診断の結果と見積書も併せて提示してある。

小立小学校建て替え

渡辺美雄委員

小立小学校の建物耐力度調査は耐力・機能の低下と立地条件の影響の調査内容は。

学校教育課長

現在の場所ですべて建て替えるのかの選定。

渡辺美雄委員

具体的に建て替え条件に建築、さらに通学路等の状況の調査であるか。

学校教育課長

学校の場所とまわりの状況の立地である。

学習塾助成

山下利夫委員

学習塾の助成の対象は。

学校教育課長

対象は就学援助を受けている中学2年、3年生である。

山下利夫委員

町の要保護・準要保護の就学援助費の対象人数は何か。

学校教育課長

中学生40人である。

くぬぎ平

サッカー場の運営

渡辺美雄委員

新年度予算歳入のくぬぎ平サッカー場使用料は、メインとサブを合わせていくらか。今年度、昨年度も教えてほしい。

生涯学習課長

新年度予算では、460万円、令和5年度2月まで、524万2290円、令和4年度、601万5520円、令和3年度、308万1990円。

渡辺美雄委員

今のサブグラウンドの使用料金と、人工芝にした場合の使用料金は。

生涯学習課長

町外者の料金は、午前が4140円、午後が6900円、人工芝になると、午前が1万8000円、午後が3万円。

古屋実委員

人工芝化に3億円かかるが、元は取れるのか。

生涯学習課長

方針としては、スポーツ振興のほか、利用者の関係

者がこの町に宿泊し、観光の振興にもつながっていくと考えている。

三浦康夫委員

サブグラウンドは今のままで、問題がないのでは。

町長

一連の競技を通じて、様々な大会が誘致でき、スポーツの振興につながる。

また、人工芝化によりラグビーコートとしても使え、様々な経済効果も期待できる。スポーツ振興は、県知事もこれから力を入れていくとのことなので、費用対効果以上のものが生まれてくると考えている。

町民プールの

運営と現況

三浦康夫委員

町民プールの照明施設改修工事の内容は。

生涯学習課長

25mプール、更衣室、共用スペースのライトをLEDに替える予定。

三浦康夫委員

町民プールは黒字か赤字か。

生涯学習課長

コロナ禍前は黒字であったが、その後、2000万円近い赤字になった。現在、上限2000万円の町からの指定管理料で赤字部分を補填している。

音楽活性化事業の展開

山下利夫委員

どのように展開していくのか。

文化振興局長

地元の小中学校、福祉施設、保育園で演奏会を実施する。また、生で演奏会を楽しめる環境にない人に、身近に感じられる演奏会を考えたい。

ステラシアターの運営

古屋実委員

建て替えは考えていないのか。

文化振興局長

長期的な視野に立った維持管理を行い、修繕も進めている。建て替えの計画はない。

三浦康夫委員

企業版ふるさと納税を考えているか。

文化振興局長

令和3年度から3000万円企業版ふるさと納税をいただいている。これは、「音楽のまちづくり事業」に賛同していただいた寄附である。また、令和5年度も、500万円の寄附をいただいた。現在、辻井伸行さんのピアノフェスティバルに興味を持つ企業がある。

美術館の正面ガラス

三浦康夫委員

ガラスのひび割れは、保険料対応できているのか。

文化振興局長

これまで3回ほど破損して修理をし、保険等で対応している。

町史編さんの進捗

三浦康夫委員

進捗状況は。

生涯学習課文化財係長

コロナの影響で2年分先に伸び、令和19年度に全事業を終了する予定となった。現在、自然・考古編を進めており、町の遺跡や埋蔵文化財等に関する調査研究を行っている。

総括質疑

各地区懇談会

中村拓郎委員

コロナ前に行われていた各地区の懇談会は、今年はどう行うか。

政策企画課長

新しい事業もかなり出てきているので、開催したい。

図書館50周年記念事業

山下利夫委員

具体的にどんな方向で事業を進めていくのか。

生涯学習課長

町立図書館の魅力を振り返り、これからの図書館を共に考えていくという形の事業を進めたい。具体的には職員主導ではなく、図書館協議会に諮っている。

くぬぎ平サッカー場

渡辺美雄委員

くぬぎ平のサブグラウンドの人工芝化と併せて雪解沢の雨水対策も進めるべき

だが、その考えは。都市整備課長

現地を確認した上で計画を図っていきたい。

渡辺美雄委員

グラウンドの利用料も上がるが、地主に使用料を払うべきではないか。

町長

費用対効果以上の効果が出てくる中で、そのような考え方もあるのではないかと思う。

副町長

当時の町長の約束で、儲かったらその分は支払うと約束したと聞いている。

渡辺美雄委員

そのような細かなことは書いてない。

山下利夫委員

くぬぎ平の人工芝化の事業は、財政的に大丈夫か。

町長

今、グラウンドは荒れていて試合にならないようなこともある。これを国際基準化したら、費用対効果以上の効果が期待できる。町

のグレードアップという意味合いにおいても重要なことである。また、予算上、町の財政が悪化するとは考えられない。

議員の

ツエルマツト訪問

山下利夫委員

ツエルマツトへの議員訪問は、費用の一人約70万円の半分が自前であるが、やはり高額である。代表者に絞るべきではないか。

町長

今、富士山でいろいろな問題が指摘されている。上下水道等の環境面や、登山鉄道等の課題を勉強してきていただきたい。是非、ご理解をいただきたい、皆さんになるべく参加していただきたい。

湖上祭

古屋実委員

花火の打上げ場所は。

観光課長

観光連盟が主体で行われていることだが、湖上、八木崎公園、船津の豊岩での打ち上げになるかと思う。

町の借金

井出正広委員

町の借金は何年かけてなくなるのか。

総務課長

起債というのは、償還年月が幾つかある。10年、20年、30年といった形でそれぞれの耐用年数によって借りていく。毎年借りていき、それが順繰りになっていくので、いつなくなるということではない。

井出正広委員

今年度はどのくらい残っているか。

総務課長

令和5年度末の見込額は163億2792万円である。

参考となる流山市

中野貴民委員

当町も人口が増加しているが、大きく人口増の見られる流山市を検証してほしい。

町長

こういうところの事例をしっかりと精査し、勉強していかねばならない。研

修、視察も考えている。

討論

渡辺美雄委員

新年度予算のくぬぎ平人工芝化事業に、反対したい。雨水対策等について問題があり、解決できないものと感じている。また、賃料、使用料等についても諸問題があり、これを解決しなければ、進めるべきではないと考えている。地元の意見等も含めた中で反対する。

山下利夫委員

2点の理由でこの予算には反対である。1点目は、精査や減額が必要な事業が含まれているということ、もう1点は住民の暮らし支援の充実を求めるという2点により、私はこの予算には反対である。

公開します 議員の賛否

審議した議案とその結果



○令和6年 第1回臨時会 (1/30)

○令和6年 3月定例会
(第1回)

会期: 3/5 (火) ~ 3/18 (月) 14日間

[本会議] 議案審議 (3/5、3/18)

代表・一般質問 (3/6、3/7)

[予算特別委員会] (3/8~3/14)

上程議案・概要・結果	結果	堀内 詠子	中村 拓郎	古屋 実	古屋 幹吉	井出 正広	外川 満	渡辺 武則	渡辺 美雄	中野 貴民	山下 利夫	佐藤 安子	小佐野 快	堀内 昭登	三浦 康夫	倉沢 鶴義
賛成: ○ 反対: × 討論: 討 欠席: 欠 全賛: 全員賛成で可決・認定・採択 棄権: 棄 賛多: 賛成多数で可決・認定・採択																
令和5年度富士河口湖町補正予算																
令和5年度一般会計補正予算(第9号) (物価高騰対策商品券事業) ▶P4に記載	賛多	○	○	×	-	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○
令和6年度富士河口湖町歳入歳出予算																
後期高齢者医療特別会計	賛多	○	○	×	-	×	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○
一般会計 ▶P2-4に記載	賛多	○	○	×	-	×	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○

* 議長は賛否同数の場合のみ、議長採決として賛否表明します。

令和6年度富士河口湖町歳入歳出予算	結果
船津財産区特別会計 4億7,528万円	全賛
小立財産区特別会計 8億562万円	全賛
大石財産区特別会計 3,276万円	全賛
河口財産区特別会計 6,826万円	全賛
西深沢外十三恩賜県有財産保護財産区特別会計 477万円	全賛
勝山財産区特別会計 5,879万円	全賛
長浜財産区特別会計 343万円	全賛
西湖財産区特別会計 957万円	全賛
大嵐財産区特別会計 2,167万円	全賛
青木ヶ原外七字及び小立山外七字恩賜県有財産保護財産区特別会計 447万円	全賛
精進財産区特別会計 639万円	全賛
本栖財産区特別会計 73万円	全賛
富士ヶ嶺財産区特別会計 305万円	全賛
大室山外三十字恩賜県有財産保護財産区特別会計 145万円	全賛
小立簡易郵便局事業特別会計 1,092万円	全賛
富士ヶ嶺簡易郵便局事業特別会計 978万円	全賛
河口湖治水事業特別会計 3,635万円	全賛
国民健康保険特別会計 27億2,608万円 (前年比5.0%減)	全賛
介護保険特別会計 22億2,221万円 (前年比7.6%増)	全賛
介護予防支援事業特別会計 833万円 (前年比1.2%増)	全賛
船津公園墓地事業特別会計 1,374万円 (前年10.3%増)	全賛
小立公園墓地事業特別会計 3,830万円 (前年比297%増)	全賛
勝山墓地事業特別会計 169万円 (前年比7.0%増)	全賛
水道事業会計	全賛
河口湖簡易水道事業会計	全賛
定和田簡易水道事業会計	全賛
上九一色簡易水道事業特別会計	全賛
下水道事業会計	全賛
本栖下水道事業特別会計 897万円 (前年比3.6%増)	全賛
温泉事業特別会計 4,599万円 (前年比76.2%減)	全賛
令和5年度富士河口湖町補正予算	
船津財産区特別会計(第4号)	予算組替 全賛
小立簡易郵便局事業特別会計(第1号)	予算組替 全賛
富士ヶ嶺簡易郵便局事業特別会計(第2号)	予算組替 全賛

令和5年度富士河口湖町補正予算	結果
河口湖治水事業特別会計(第1号)	150万円増額 全賛
後期高齢者医療特別会計(第2号)	1,090万円増額 全賛
介護保険特別会計(第3号)	14万円増額 全賛
介護予防支援事業特別会計(第2号)	69万円増額 全賛
船津公園墓地事業特別会計(第2号)	15万円増額 全賛
小立公園墓地事業特別会計(第2号)	15万円増額 全賛
温泉事業特別会計(第1号)	繰越明許 全賛
一般会計(第10号)	4,957万円増額 全賛
条例等の一部改正	
富士河口湖町手数料条例の一部改正	全賛
山梨県市町村総合事務組合規約変更	全賛
富士吉田市外二町四村一組合ことばの教室設置協議会規約変更	全賛
富士河口湖町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正	全賛
富士河口湖町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	全賛
富士河口湖町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	全賛
富士河口湖町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正	全賛
富士河口湖町職員給与条例の一部改正	全賛
富士河口湖町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	全賛
富士河口湖町ふるさと応援寄附条例の一部改正	全賛
富士河口湖町税条例等の一部改正	全賛
富士河口湖町介護保険条例の一部改正	全賛
富士河口湖町指定居宅介護支援等の事業に関する基準等を定める条例の一部改正	全賛
富士河口湖町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	全賛
富士河口湖町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	全賛
富士河口湖町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	全賛
富士河口湖町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	全賛
富士河口湖町ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正	全賛
富士河口湖町船津公園墓地及び小立公園墓地条例の一部改正	全賛
富士河口湖町給水条例等の一部改正	全賛
富士河口湖町水道事業の設置等に関する条例等の一部改正	全賛
町道の路線認定について	全賛
人事案件	
富士河口湖町副町長選任同意	全賛
船津財産区管理委員選任同意	全賛
大嵐財産区管理委員選任同意	全賛

代表質問



町民と共に歩む会

代表質問者 渡辺 武則

代表 中野 貴民
倉沢 鶴義 堀内 昭登
渡辺 武則 中村 拓郎

町民の生活支援を含めた新年度予算

Q 町長が昨年12月に就任され、初めての当初予算編成となる。

A 任期中に町民1人当たり5万円の生活支援をするという公約は、すでに1月30日に招集された臨時会で、「物価高騰対策商品券事業」として、町民1人当たり3万円の支給が上程、可決された。

A 令和6年度、町民に対するさらなる生活支援を含んだ予算編成の方針について伺う。

A 総務課長
令和6年度予算編成

とし、町民限定の事業としていく。
また、教育の支援について、学習塾等受講料助成事業、奨学金返還支援補助事業を新たに実施。その他、高齢者補聴器購入費助成事業や高齢者等への紙おむつ等の給付事業の適用範囲の拡充を行う。

代表質問者 倉沢 鶴義

Q 今年度当初予算は、139億8500万円。前年度比、約4.9%の増と、かなり公約が盛り込まれたと承知している。

A 今後の4年間にに向けて、町長の不遑転な決意を伺う。

A 町長
公約実現には、スピード感を持って、言ってきた。就任後、土日を除き37日間で「物価高騰対策商品券事業」として、町民1人当たり3万円の商品券を配布することを可決いただいた。

A 前町政の継続を基本に、赤ちゃんからお年寄りまで、すべての住民へのサービスを積極的に進めていく

考えた。

宿泊税の導入

Q 新型コロナウイルスの影響も小さくなり、当町を訪れる観光客はインバウンドを中心にさらに増加し、オーバーツーリズムという課題が大きく取り沙汰され、新たな観光施策が求められる。

A 町長は、町独自の宿泊税を導入して、観光の受入れ体制を強化することを公約に掲げたが、今後の考えは。

A 町長
今後、ワーキンググループを立ち上げ、宿泊税導入に向けた情報収集など調査研究を進めていきたい。

Q 納税者の大半は観光客で、収納は事業者に依頼することになる。導入にあたっては、お客様と事業者のご理解とご協力が不可欠。

A また、一般町民には、観光イベントや観光施設整備に多くの税金が使われていることに対する不公平感の

払拭も重要ではないか。

A 町長
宿泊税の導入に向けた業務を進める過程においては、様々な課題が予想される。その一つ一つを解決するとともに、丁寧な説明を重ねることで、お客様や事業者、町民の理解を得ていきたい。

代表質問者 中村 拓郎

Q 宿泊税は、法定外目的税となる。

A 現在、町が導入している遊漁税は法定外目的税、入湯税は法定目的税。予算上どのように整理されているのか伺う。

A 総務課長
法定目的税である入湯税は、法定された目的の事業に充てる。法定外目的税の遊漁税は、全額を河口湖治水事業特別会計に繰り出し、条例に基づいた目的の事業の支出に充てる。



掘削中の第4源泉

地域防災の強化

Q この度の、能登半島の地震ではライフラインの長期にわたる寸断が続いている。

A 能登半島の被災状況を教訓とし、これまで行われていたような防災訓練を見直すことも必要かと思うが。

Q 地域防災課長 富士河口湖町地域防災計画については、現在、次回改定に向けて見直し作業も行っている。改定点を見直しながら、防災訓練項目内容の見直しについても検討していければと考えている。

Q 地域防災力の中心となるのが消防団である。

A 地域のまちフェスでも実施したが、今後の団員確保に向けての取組は。

Q 地域防災課長 ポスターやチラシなどを各所に配備し、町内の事業所に向く防災講座でも、新規団員の確保につながるよう声をかけていきたい。

Q 今後の地域防災には、女性の参加が不可欠になる。

A 今後、正式に女性を含めた機別消防団員として位置づけることも必要では。

Q 地域防災課長 女性団員確保には、大きな検討課題もあるが、避難所設置や、広報担当といった観点から、災害救助協力隊と同じような、機別消防分団制度の導入として検討していきたい。

Q 関連質問 中村 拓郎 当町において、有事の際の水の供給について、現在検討されていることは。

A 水道課長 災害時、停電になると井戸ポンプが停止してしまう。停電対策として、各地区の主要な水源に非常用発電機を平成23年度から順次設置を行っている。併せて管路の耐震化も進めている。

Q 関連質問 堀内 昭登 災害発生時の指定避難場所や、一時避難場所の整備状況と、2014年2月の記録的な大雪のように、交通が遮断された場合の対応について伺う。

A 地域防災課長 富士河口湖町ほか1市2町3村で構成する富士北麓災害時の相互応援協定の締結を基本に進めている。

Q 孤立化するおそれの大きい河口湖北岸、西湖、精進地区については、河川敷などにヘリコプター発着所が指定されている。

Q 住みよい町 No.1の推進 民間の建設関連企業が毎年調査をしている「街の幸福度&住み続けたい街ランキング」において、富士河口湖町は3年連続で山梨県ナンバー1となった。これこそ、前町政が進めてきた施策が評価されたという数字的根拠でもある。それを継承する町長に

強い思いと誇りを持って行政運営に当たっていただきたい。公約に掲げられた前町政の継承とさらなる飛躍について伺う。

Q 町長 前町政が行ってきた住民サービスを継続的に取り組むことはもちろんのこと、多様化、複雑化する行政課題への対応と、物価高騰にも的確な対応や将来への投資を着実に実施し、町民の暮らしやすいまちづくり、持続可能な行政サービスの実現を目指していきたい。

Q 幾ら住みやすい町として評価をいただく中でも、当町では中古住宅や宅地の品薄といった課題もある。未開発の袋地を地主、業者、行政の三位一体で開発できないものか。

A 町長 町にとっても、活用されていない土地が有効利用されることは、様々な面でのメリットが大きいものと思う。質問の件については、提言として承る。

Q 関連質問 中野 貴民 千葉県の流山市は、当町をはるかに上回る幸福度のある街とされている。

A 町長 これから先、人口増の自治体の施策を注視し、流山市をはじめ、その他の自治体を関係部署と共に、視察研修を含めた中で、アテンナを高く張り巡らせていきたいと思っている。

Q 保育所の送迎問題等、見習うべき点が多々ある。視察等について町長の見解を伺う。

A 町長

未開発の袋地



未開発の袋地

代表質問



町民クラブ

代表質問者 渡辺 美雄

代表 三浦 康夫
渡辺 美雄 井出 正広
古屋 実

職場環境の改善・向上

Q 町長は役場の職場環境の現状と、職場環境の改善・向上についてどのように考えているのか。

A 総務課長 職員の負担は大きくなってきている。様々なアプローチにより職員のモチベーションの向上や効率性の向上、また職場の雰囲気改善などにつなげていきたい。

Q 役場の職場環境は、風通しが悪いと感じている住民が多くいるようだ。町長はその実感をどう捉えているのか。

A 町長 良好な職場環境に向けて総務課長の答弁のとおり、鋭意努力をしている。

Q 職場相互の信頼性が損なわれているのではないかと。

A 町長 町長として任期中の問題解決に向けて鋭意努力していく。

関連質問 井出 正広

Q 今年の1月上旬に不幸な出来事があった。今後このような事が起きないよう外部のカウンセラーの設置を提案するが。

A 総務課長 検討していくが今はその時ではないと考える。

関連質問 三浦 康夫

Q 当町の常態化した残業はどの程度発生しているのか。

A 総務課長 会議後に資料を提出する。

Q 障害者の雇用が定着しない当町についての分析は。

A 総務課長 障害者の雇用率は3・14%であり、法定雇率の2・6%を上回っている。

ごみ処理の現状と今後の対応

Q 当町のごみ処理の現状と取組や今後の対応等は。

A 環境課長 毎年合計で約1万トンを処理している。リサイクルステーション等により再資源化を進め、コンポストに対しては購入補助金を交付。さらなるリサイクル

の告知を進めていく。
Q ごみ減量化の成果が上まらない原因とその対策は。

A 環境課長 観光復活による事業系ゴミの増加に起因する。生ごみ処理機購入補助金を増額し対応する。

Q ごみ処理業者の計量方法と運搬方法の把握及び、それらの指導は。

A 環境課長 町で許可した収集業者が各自計量して、処分場に持ち込んでいる。

Q 収集業者の中には計量していないところや、他の市町村事業者からのごみを積み替えてから搬送している業者もあるが、把握しているか。

A 町長 業者が特定できていないものには答えられない。

Q ある宿泊業者によると、収集料の代金に問題があるようだが。

A 環境課長 今初めて聞いた。町では間違いがないというところで処理をしている。

Q 業者の中には決まったルート以外のごみを搬送している車もあるようだが、把握しているか。

A 町長 今後、私が視察し精査していく。

Q 住宅地で朝からごみ収集車の騒音が日常的に発生している。町長はどう考えるか。

A 町長 現地に行きその影響を精査し、やっつけていく。

Q 観光施設に対して大型処理機補助金付与の考えは。

A 環境課長 限度額150万円まで支給する。

観光対策

Q 観光支援の強化について具体的な対策は。

A **観光課長**
関西方面の商談会を計画。人手不足解消の為に就職マッチング会や外国人労働者等を対象とした日本語教室開催などを予定。

Q オバーユース等により駅前通りは異常な混雑状態であり、登下校時は児童の安全が危惧される。抜本的な対策には駅前の再開発が必要であり、それには地元の意見をよく聞いたうえで進める必要がある。

A **町長**
周辺の店舗関係者、運輸業者や地権者などとの対話を通じて対策を講じていく。

Q 河口湖ロープウェイ乗り場付近の混雑解消のため、湖畔駐車場へバス乗り場を拡張する考えは。

A **観光課長**
富士急行株式会社と

も協働する形で対応していきたい。

Q **世界遺産であり世界に誇れる観光都市なのに、友人から「河口湖は汚くて戻りたくない。」と言われました。湖の保安と清掃に対して、町長の考えは。**

A **町長**
水質の改善下水の問題や森林整備を進め、湖の環境に対してしっかりと取り組む。

Q 町長が望みの宿泊税導入を観光業者に対してどのようにアプローチしていくのか。

A **政策企画課長**
宿泊税の導入は研究する中で話し合いをしていきたい。

Q 町では観光ニーズをどのように把握し事業を展開するのか。

A **観光課長**
6月に大池公園で蔵出しワインバーを計画。

基金の活用状況

Q 各基金の内容と残高の推移は。

A **総務課長**
一般会計の基金は16あり3種類に分けられる。基金の合計で4億5000万円の増となる。

Q 財政調整基金の12億4000万円は発災時の初期対応費用としては少ないと感じるが。

A **町長**
歳入や歳出の工夫に努め基金を積むことが望ましいと考えている。

Q 町が所有する有体物件の民間活用による基金の増加に対する町長の考えは。

A **総務課長**
適切に運用できるような活用を図っていきたい。

Q 今年度ふるさと納税はどの程度の積立ができたのか。

A **政策企画課長**
平均支出額は約2億円、定住や移住を考慮する場合に1つの要因・安心材料となっている。

Q 小・中学校の教材費無償化実施を提言するが。

A **学校教育課長**
国への要望を続けていく。

Q 大石地区の農業振興地域に、少子化対策を念頭とした住宅地整備の考えは。

A **町長**
居住地域を増やす必要性を強く感じているのでやっていきたい。

Q 婚活イベント等の必要性について町長の考えは。

A **政策企画課長**
今年度は2回実施する。

Q 生活拠点のみを移した、人口の実感数は。

A **政策企画課長**
令和2年度国勢調査の数字を後でお知らせする。



みんなのギモン?
一般質問

一般質問者 佐藤 安子

能登半島地震から
見えてきた課題

Q 能登半島地震では、断水が大きな問題になり、トイレの利用者からは臭い、汚い、暗いなどの声が上がリ、トイレを我慢するという報道が入っていました。水分や食べ物を控え、健康被害も指摘されています。トイレは水や食料よりも最優先で必要になる。災害発生時の町のトイレ対策について伺う。

また、能登半島地震では、移動型のトイレトレーラーが話題になっている。町として導入は。

A 地域防災課長

各避難施設に併設の災害備蓄倉庫にはダンボール製の簡易式トイレを配備し、町内全10か所に52基のマンホールトイレが整備してある。マンホールトイレの施設がない避難施設へは、現在、ペダル式水洗仮設トイレのレンタル事業者と協定を締結する協議を進めている。

トイレトレーラーは衛生的に非常に優れていて、トイレラーの外装には、町の観光情報などの広報もラッピング塗装できるなど宣伝効果もある。費用面などあらゆる面から様々検討していきたい。

災害対応力を強化
する女性の視点

Q 2月5日の地元紙に女性の視点欠落との見出しの記事が掲載されていた。当町の女性や妊産婦、乳幼児用備蓄の準備状況は。

また、避難所運営には、自主防災会に女性が入っていないと運営に支障が出ることは、常に指摘されてきた。どうしたら女性が関わっていただけるのか、町の考えは。

A 地域防災課長

町の備蓄倉庫等に配備する女性や乳幼児用備蓄品については、一般的な備蓄である。現時点での備蓄品の品目と数量などを点検し、実際に必要になる品目や数量に反映したい。各家庭においても平常時から備えておくように周知する。

今後、地域の防災力に女性の視点を反映させるべく、地区災害対策本部へ、女性防災士など、女性を本部長として加えることを提案していきたい。

これからの公共交通

Q 観光客であふれ返っている河口湖駅。周遊バスは観光客が立って乗っているほど満員状態。タクシーは観光客が利用し、町民が日々の生活の中で利用しにくい状況が続いている。法定協議会の設置と地域公共交通計画の策定は、町民の生活を守るためと住み続けられる町として大切な施策。これからの地域公共交通の考え方を町長にお聞きしたい。

A 町長

国内においては、副業人材を活用するライドシェアの解禁やAIデマンド交通など、様々な形での地域公共交通の在り方が議論されつつある。当町においても、既存事業とのバランスを保つ、もしくは、選択と集中による整理統合など、どのような方法が適切であるか、また新たな事業の在り方について、調査研究を進めていく必要がある。

性的マイノリティー
への支援

Q 山梨県パートナーシップ宣言宣誓制度が令和5年11月から開始。それに伴い、市町村での連携が始まり、富士河口湖町の行政サービスが県のホームページにも公開されている。様々なサービスの支援とともに、LGBTQへの理解の取組が必要と考える。

A 政策企画課長

性的マイノリティーの方々の生活上の困難を少しでも取り除き、誰もが人生のパートナーとして安心して暮らすことができるよう応援するもので、生活支援につながるサービスの拡充を図っていきたい。

また、LGBTを知り、サポートするためのガイドラインなど、町民へのLGBTQへの理解促進に向けて、情報発信に努めたい。



みんなのギモン?
一般質問
一般質問者 外川 満

**鳴沢から西湖に
抜けるトンネル**

Q 鳴沢村議会で取り上げられ、村長は非常に前向きであったが、町の見解は。

A 都市整備課長
防災道路としてだけではなく、生活道路としても利便性がある。また、観光スポットをつなぐ道路としても期待できる。

町長も前向き!

Q 政治判断が必要。町長の考えは。

A 町長
当町としても富士ヶ嶺地区の避難経路として大切な位置づけになる。ま

た、生活道路としても、観光を見据えた道路整備としても、両町村にとって有益である。もとより、当町と鳴沢村は、常に友好な協力体制を取ってきた。よって、この防災トンネルにおいても積極的に協調していく。両町村共同で山梨県へ働きかけていく。

**新しい観光政策
「蔵出しワインバー」**

Q 「蔵出しワインバー」町長が就任して初めての観光シーズンを迎える。新しい取組は。

A 観光課長
6月のハーフフェスティバルの一環として大池公園にて、「蔵出しワイン

バーKAWAGUCHI O」を計画している。甲府駅北口で開催され好評を博しているイベントを招致する。山梨ワインを当町の観光資源として本格的に定着させることを目指し、町観光の新たな風物詩となることが期待される。

町長トップセールス!

Q 町長自らの観光宣伝を期待するが。

A 観光課長
計画中の関西方面での商談会へは、町長も同行していただく。

Q 町長
当町には、富士山観光を内外にセールスしていく使命があるので、当町はもちろん、富士山周辺の魅力も含めて積極的に売り込んでいきたい。

**「介護保険制度」
値下げする保険料**

Q 大変喜ばしいが、その背景は。

A 健康増進課長
人口の推移、保険給付費の上昇など様々な観点

から検討した結果、年間1440円の引き下げが可能となった。3年間で総額約1億6000万円を「介護保険円滑導入基金」の活用によって補う。基金残高は、約2億3700万円となるが、国や県の指導では適正の範囲内である。

**重層的支援体制を
厳しい介護の現場と
どう対峙するのか。**

Q 健康増進課長
高齢者にとって介護保険制度は最後の砦。そんな中、職員は主観に捉われず、客観的に公平に見極めるよう、日々技術の向上を図っている。現在、様々なニーズに 대응べく、相談支援体制、参加支援の体制、地域づくりに向けた支援体制の3つの支援を一体的に実施する「重層的支援体制」の必要性が求められている。

Q 町の人口増に貢献している生涯学習課の事業の内容は。

A 生涯学習課長
この町に住むすべての人向けに、課の職員一丸となって、生涯スポーツ、生涯学習の普及の展開に取り組んでいる。クラブ富士山、図書館、公民館活動、富士山郷土発見講座、フォトプロジェクト、絵本の読み聞かせ会、もみじウォークなどが所管である。また、スポーツイベントでは、ここ数年は全国規模の大会も当町で開催される見通しであり、課を挙げて取り組んでいく。

生涯学習課の事業

Q 町の人口増に貢献している生涯学習課の事業の内容は。

A 生涯学習課長
この町に住むすべての人向けに、課の職員一丸となって、生涯スポーツ、生涯学習の普及の展開に取り組んでいる。クラブ富士山、図書館、公民館活動、富士山郷土発見講座、フォトプロジェクト、絵本の読み聞かせ会、もみじウォークなどが所管である。また、スポーツイベントでは、ここ数年は全国規模の大会も当町で開催される見通しであり、課を挙げて取り組んでいく。

**野球の練習環境の
整備を進めてほしい!**

Q 町の野球人口は決して少なくない。しかもかなり優秀なチームもある。軟式社会人野球大会の関東選抜で優勝したMBCもその一つである。そんな中、練習環境の整備は。

A 生涯学習課長
練習環境を改善するため、夜間照明の改修を進めている。町民グラウンドは既に改修済みで、残る施設も順次進めていく。



みんなのギモン?
一般質問

一般質問者 堀内 詠子

福祉避難所の拡充



Q 災害発生時、要配慮者は、福祉避難所に

直接送やかに避難できる体制が必要である。令和3年5月以降、国のガイドラインが変更され「指定福祉避難所の指定を促進するとともに事前に受入れ対象者を調整し人的体制の整備を図ることで災害時の直接の避難を促進そして要配慮者の支援を強化する」とある。避難所の運営が円滑にされないとい必要とする人ほど避難所を離れ2次災害が起きる可能性が高いと言われてきた。高齢者や障がい者などを受け入れる福祉避難所だが、当町

のその数の圧倒的少なさと地域格差に危機感を持つ。

現在14施設の受入れ態勢はあるが対象者は2500名以上が予想され更に高齢化率も上がっている。全ての要配慮者の為に、2次避難所という位置付けをなくした直接の避難ができ、その数を増やすことは、初動で命を守るため、町民保護を実現するため、災害関連死を防ぐために必要である。各避難所開設に当たっては今後自主防災の方向でも進めていかなければならないと思うがいかがか。



A 地域防災課長

町で指定する福祉避難所については、2次避難所施設利用に関する協定と

して締結し、現時点で町内14施設を指定している。福祉避難所においては、そういった施設が町内にどれだけ存在し、どういった措置をしていただけかなどを調査し、検討していかなければと考える。要支援者の個別避難計画の作成状況も踏まえ、必要に応じては協定の内容を変更するなど、直接避難ができる体制づくりに向け施設側と協議していければと考える。地区の状況により、全ての地区が同じような避難施設設置や組織編成ができるとは限らないが、福祉避難所の確保、運営に向けて取り組んでいけるように努めていければと考えている。



Q 平時から災害緊急時まで、支援内容が理解できる等便利で大変重要なカードであると認識している。その対象者は約2500名以上と思われる。速やかに要配慮者であることが知らせることが可能な

ヘルプカードの活用推進

め、命が守られることにつながる。今後は更に時代に沿ったアップデートも必要となってくるが、今は多くの住民、当事者への周知啓発をより一層強化していただきたい。なお、直接または自治会などを通じて手元に届く方法や非常持出し袋・別の鞆への取付け、劣化交換用等、複数の配布も良いと思うがいかがか。



A 福祉推進課長

令和6年1月末現在の累計で356名の方に発行しており、利用拡大と理解と周知を図るために、イベント等でのポスターやチラシでの周知、利用者や関係者、関係団体からの拡散等も期待されるような新たな啓発が行えるかを検討し、申請時における必要枚数の確認や劣化等による交換などへの対応も行っていきたい。

高齢者の免許返納後の交通課題は



Q 高齢者外出支援事業によるタクシー・バスの補助はあるが利用率は

低い様に思える。地域によっては商業施設や医療福祉施設等が無い、少ないという地域ほど困難者多数で高齢化も進んでいるのが実態で免許返納後の交通手段で困難が生じている。タクシーは観光に使われ介護タクシーは自身が対象なのか迷う、バスは乗り場まで遠い、観光客等の混雑で感染症等が心配で利用できていない等の状況であるために対策が必要となる。そこで現行の温泉施設（健康プラザ・美香の湯）送迎バスの路線拡大をお願いしたい。今までの路線に医療機関、商業施設等を加え、地区ごと週2日、1日3回ほど巡回したら便利に有効利用できるのではないか。



A 福祉推進課長

本事業について、町広報紙やHP、CATVでのテロップ放送を活用し、周知を図りたいと考えている。温泉施設への送迎バス路線の拡充については、関係各課と協議検討をしていきたいと考えている。



みんなのギモン?
一般質問
 一般質問者 山下 利夫

木造住宅の耐震化補助の対象を広げて

Q 能登半島地震の教訓から、木造住宅の耐震化を急ぐ必要がある。山梨県の耐震改修補助は、上部構造評点を1・0以上に上げる工事が対象。費用が高額になり、古い住宅の耐震化が進んでいない。長野県などが行っている上部構造評点を0・7以上にする改修等も補助の対象に。

A 耐震改修補助の上限の増額を新年度予算に計上した。県と連携し耐震化を促進していく。

Q 上限100万円を125万円に増額。こ

れでは耐震化は進まない。この5年間の補助件数は。

A 令和元～5年度の合計で、耐震診断12件、改修2件。制度を周知する。

Q ポイント還元は経済活性化策として行い2万円は現金給付で

A 町長公約の「1人5万円」のうち3万円は商品券により行われ、町民への支援となる。しかし、あと2万円をマイナポイントにより実施することは問題がある。当町のマイナンバーカード普及率は78・4%で、施設入所の方やスマホを持っていない方もいるからである。ポイン

ト還元は経済活性化策として別に実施し、2万円は現金給付で実施を。

A 町長 デジタル化社会に向かう中で、マイナンバーカードの普及率を上げ、スマホ取得者を増やすことは重要であり、町民限定にできることから、マイナポイントによる支援を行う。スマホ購入補助なども実施する。現金給付は、町の経済活性化の一助とならないおそれがあり、考えていない。

Q 給食食材の地産地消、有機食材の導入を

A 「子どもたちに安全なもの食べてほしい」ということは、すべての方の願い。しかし、日本は、世界の多くで規制しているグリホサート(除草剤の主成分)やネオニコチノイド(殺虫効果がある)の残留基準を緩和した。この中で、全国137の自治体(2021年度、農水省)が、有機食材を学校給食に使用しており、最近、都留市が学校給食に有機米を、

富士吉田市が特別栽培米を導入した。当町でも、地産地消の推進、可能な限り有機食材の導入を。

A 学校教育課長 地産地消、食育として、ジビエ料理を学校給食に導入した。有機食材も、同等な価格であることや量の確保など、条件が整えば導入していく。

Q 補聴器購入への補助を

A 補聴器は片耳価格で平均15万円程度※と高額であり、日本の補聴器使用率は難聴者の15・2%※にとどまる。中等度や軽度の難聴者も対象にした補聴器購入補助を実施する自治体は県内4市村(富士吉田市、忍野村など)に広がっている。当町でも実施を。(※日本補聴器工業会の調査より)

3万円)を助成する。3万円)を助成する。

Q 小中学校の改築を

A 学校教育課長 学校施設長寿命化計画で、健全度が小さい(改築等の優先度が高い)建物が最も多い小立小学校の改築等の推進を。

A 学校教育課長 小立小学校は、管理棟が築45年、南校舎が築63年で、共に平成18年に大規模改修を実施。体育館も築49年で平成17年に大規模改修を実施。しかし、主要建物が軒並み老朽化している。令和6年度に耐力度調査を行い、その後、基本設計で施設全体の整備計画を立て、改築等を行う予定。

Q 除雪体制の強化を

A 出動の有無に関わらず、契約した除雪業者者に重機の維持費などを支払う仕組みを。

A 都市整備課長 除雪の出動回数が減り、重機の維持管理費やリース料の負担が大変との声も聞いている。県などの実態を確認し、検討する。

日本画展を終えて……

川口 治夫 

日本画展を企画してくださった同級生の方々、会場の設営・片付けにお手伝いをして下さった方々、小学校・中学校・高等学校時代の友達、老人クラブの方々、兄・姉の友達の方々等多くの皆さんに家族のような優しさともぐもりを強く感じました。皆さんのご家族や知人・友人などを誘って二度三度と見に来て下さった人たちが数多く、有難いことでした。

皆様との昔話や近況報告なども盛り上がり、一気に子ども達の頃に戻りました。毎日が楽しくとても貴重な体験でした。

私も故郷を片時も忘れたことはありませんでした。故郷の

富士河口湖町小立出身の川口治夫です。

地元の高等学校を卒業して上京してから間もなく58年が経とうとしています。今日までいつも自分を見守り育ててくれた故郷の皆さんに感謝しつつ生きて参りました。

この度、想像もしていなかったのですが、小学校時代の同級生の皆様方のご尽力と富士河口湖町の渡辺英之町長様や坂本副町長様の温かいご支援・ご協力により、3月12日から3月28日まで町民ギャラリーで日本画展を開催させて頂きました。

拙い絵であるにも関わらず町の広報誌で開催案内をして頂いたこともあり、960名もの多くの皆様にご来場いただきました。60年ぶり、50年ぶりにお会いした方々も多く、言葉では言い表せない程に懐かしくまた嬉しいひと時でした。



静夜思(筆者作品)

皆様も私のような者のことを良く覚えていて下さり、本当嬉しく思いました。

この度展示しました37作品の中から、大小の作品7点を町に寄贈させて頂くことになりました。

このうち大きい作品「静夜思(李白)」は、「李白が旅先で夜床に就く前に山の上にかかる月を見ながら静かに故郷を思うという詩」ですが、これに私自身の心情を合わせて、イメージして描いた作品です。

結びに当たり、故郷の皆様方に改めて心より感謝し厚く御礼を申し上げますとともに、富士河口湖町の今後益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

※小立で育った川口治夫さんは、町の福祉向上に寄与した功績により、3月議会で名誉町民に推戴され議決されました。

議会見聞録



3月定例町議会の傍聴という貴重な体験をする機会を得ました。当日は、各党派による代表質問が一問一答形式で行われました。

新年度予算編成に関連する質疑応答が中心でした。渡辺町長にとって、初の当初予算審議でもあり質問者に対し的確な分かり易い答弁がなされていたように思います。各課の課長方も、質問内容の事前通告があったのかも知れませんが、短くまとまった回答がなされ、無知な私にも分かり易い内容でした。

医療、福祉、防災、教育、子ども支援等々あらゆる施策を推進するためには、元となる財政の裏付けは欠かせません。縛りある「宿泊税の導入」も議題に上りました。税の確保と並行し、有効活用のためにも最高意思決定機関での熱い議論を望みます。

結びに、この時の傍聴者は3名でした。議会中継はありますが、傍聴は有権者としての権利であり議会の一層の充実と活性化に寄与できます。多くの方に足を運んで頂くための一助として、可能であればKTVの有線放送で事前に「いつ・誰・質問項目」を広く知らしめることも検討すべきでは。

(足和田地区男性)

議会を傍聴しませんか? 次の定例会は6月です

どなたでも傍聴できます。議事堂入口で受付を済ませ傍聴してください。入口には注意事項が掲示されています。

- 議会広報常任委員会
- 委員長 外川 満
- 副委員長 渡辺 武則
- 委員 中村 拓郎
- 古屋 実
- 中野 貴民
- 山下 利夫
- 小佐野 快
- 三浦 康夫

(中村 拓郎)

この議会だよりが、町民の皆様様に、興味を持って読んでいただけますよう、議会の内容をわかりやすく発信し、町政について共に考えていけたらと思っております。

編集後記

風薫るさわやかな季節を迎え、新年度がスタートして一か月余り。新緑まぶしく、私たちにエネルギーを与えてくれます。

物価高が懸念される昨今ですが、観光客が多く訪れ活気を感じます。オーパーツーリズムも叫ばれ、課題もありますが、町が豊かに発展していくことを望み一歩一歩進んでいきたいと思っております。

さて今回の議会だよりは、新町長初めての予算特別委員会での審議、2会派の代表質問と4人の一般質問が主な内容になっています。